平成 29 年 1 月 11 日（水）
アートアクセスあだち　音まち千住の縁

野村誠「千住だじゃれ音楽祭」
国際交流企画第 4 弾：インドネシア調査篇 レクチャー & コンサート
「ジャワで交流したんじゃわ」

インドネシアで出会った最新音楽事情を映像・演奏・トークで体感！

東南アジアの音楽家との交流を通して国際的な展開をみせている「**野村誠 千住だじゃれ音楽祭**」。2013・2014 年度には、タイ・インドネシアから千住に音楽家を招聘してコンサートを実施し、2015 年度には、「だじゃれ音楽研究会」のメンバーが一週間のバンコクツアーをおこない、その成果を千住にて発表しました。そして、昨年末は、**インドネシア・ジョグジャカルタ**にて 9 日間のツアーを敢行。このたび、その内容を千住のみなさんとシェアするため、**映像・トーク・演奏を交えたレクチャーコンサート**を実施する運びとなりました。**伝統と革新が入り混じった最新のインドネシア音楽とだじゃれ音楽との濃密なコラボレーション**の成果を、ぜひ体感してください！

2017（平成 29）年 2 月 19 日（日）15:00-17:00（14:30 開場）

会場：東京藝術大学 千住キャンパス スタジオ A（東京都足立区千住 1-25-1）
アクセス：北千住駅 [西口] 徒歩約 5 分（JR 常磐線 / 東京メトロ千代田線・日比谷線 / 東武スカイツリーライン / つくばエクスプレス）
料金：無料（事前申込優先・先着 100 名）
出演：野村誠、佐久間新、だじゃれ音楽研究会
映像：甲斐田祐輔

※内容は変更になる場合がございます

野村誠｜のむら まこと

2002 年、浜松市三ヶ日東小学校全校児童 250 名による《体育館の音楽》を発表。2003 年、大和高田市の 104 人の小学生と《104 台の鍵ハモ》を発表。
2006 年度 NHK 教育テレビ「あいのて」番組監修+レギュラー出演。2007 年、宮城えずこホールにて、500 名以上の住民が舞台に関わる演劇交響曲《十年音泉》を総合監修。
2013 年、インドネシアとタイで現地の音楽家と26の共同作曲を行う。2014 年、1010 人の演奏家による演奏会「千住の 1010 人」を実現。
現在、千住だじゃれ音楽祭音楽監督。日本センチュリー交響楽団コミュニティプログラムディレクター。

千住だじゃれ音楽祭とは

作曲家の野村誠と公募により集まった「だじゃれ音楽研究会」を中心に展開している「野村誠　千住だじゃれ音楽祭」は、地域の人と気軽にだじゃれを言い合い、そこから音楽を生み出していくプロジェクトです。だじゃれという言葉遊びは、一見無関係な言葉どうしを、音の要素の類似によって半ば強引に結びつけてしまうパワーを持っています。だじゃれ音楽の研究によって、それを活かした新しい作曲方法を開発します。

お問い合わせ先｜アートアクセスあだち 音まち千住の縁 事務局

TEL：03-6806-1740　MAIL：info@aaa-senju.com　WEB：http://aaa-senju.com/contact
担当：松岡 [matsuoka@aaa-senju.com]、冨山

アートアクセスあだち 音まち千住の縁（通称「音まち」）は、アートを通じた新たなコミュニケーション（縁）を生み出すことをめざす市民参加型のアートプロジェクトです。足立区千住地域を中心に、市民とアーティストが協働して、「音」をテーマにしたまちなかライブ、ワークショップ、トークイベントなどを展開します。

主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、
　　特定非営利活動法人音まち計画、足立区
助成：国際交流基金アジアセンター
協力：Institut Seni Indonesia Yogyakarta、Sunyata、Djohan、Sutanto、Memet Chairul Slamat、Haryanto、Gardika Gigih Pradipta、
　　Gangsadewa、川村恒平斎
現地コーディネート：佐久間新

平成 29 年 1 月 11 日（水）
アートアクセスあだち 音まち千住の縁

千住・縁レジデンス

友政麻理子「知らない路地の映画祭」

千住のショートストーリー、３日間の上映会

「**知らない路地の映画祭**」では、**美術家・友政麻理子**と一般の参加者が、ともにつくり上げてきた**自主映画作品**をお披露目します。
上映する作品は、参加者自身がメガホンを取り、**シナリオづくりから、撮影、編集、音楽も自分たちで行った手づくりの映画**です。
千住に暮らすひとや、なじみのあるひとも、「知らない路地」を歩くように**新たな目線でまちの姿をカメラを通して見つめています。**
時には、撮影場所を探して猫のように路地を行ったり来たり。
「このまちに、シナリオを書かされてしまった」
脚本を担った参加者のひとりはこう言いました。
彼らの手によって、まだ見たことのない千住のまちの表情を感じることができるかもしれません。
映画づくりの拠点にしてきた「**仲町の家**」で3日間の映画祭がはじまります。

2017（平成 29）年 2 月 24 日（金）18:30-
25 日（土）10:30- ／ 14:30- ／ 18:30-
26 日（日）10:30- ／ 14:30- ／ 18:30-

会場：仲町の家（東京都足立区千住仲町 29-1）
アクセス：北千住駅 [西口] 徒歩約 5 分（JR 常磐線 / 東京メトロ千代田線・日比谷線 / 東武スカイツリーライン / つくばエクスプレス）
料金：無料（事前申込優先・各回定員 20 名）
上映作品：『かくれんぼ』、『空気の音（仮）』ほか

※開場は各回 30 分前、各回 2 時間程度
※内容は変更になる場合がございます

友政 麻理子｜ともまさ まりこ

1981 年埼玉県生まれ。2012 年東京藝術大学大学院美術博士課程修了。
コミュニケーション過程に現れる典型的な「型」に焦点を当て作品制作やワークショップを行う。近年は父と娘の食事中のやりとりや、やまびこや輪踊りのような風習をモチーフに、公私や虚実のあわいから、他者との新たな関係が開かれる。主な個展に「與父親共餐」（寶藏巖國際藝術村、創意小客廳、尖蚪、台北、2013）、「近づきすぎてはいけない　-Have a meal with Father-」（TALION Gallery、東京、2015）、グループ展に「もう一つの選択」（横浜市民ギャラリーあざみ野、神奈川、2015）などがある。その他、「水と土の芸術祭 2015」（新潟市ベースキャンプ他、新潟、2015）あわせて市民と「潟の夢映画祭」プロジェクトに取り組む。「TWS-NEXT @tobikan『クウキのおもさ』」（東京都美術館ギャラリー B、2017 年 2 月 18 日 -3 月 5 日 ＊2 月 20 日は休室日）に出品予定。http://www.tomomasa.info

千住・縁レジデンスとは

千住ならではの〈場〉や〈人〉とのリアルなコミュニケーション（縁）を深めることを目的としたプロジェクト。
昨年度オープンコンペティションで選出された若手アーティストの友政麻理子が、今年も千住に滞在し、地域住民と映画づくりを題材にした作品制作を行っています。

お問い合わせ先｜アートアクセスあだち 音まち千住の縁 事務局

TEL：03-6806-1740　MAIL：info@aaa-senju.com　WEB：http://aaa-senju.com/contact
担当：松岡 [matsuoka@aaa-senju.com]、冨山

アートアクセスあだち 音まち千住の縁（通称「音まち」）は、アートを通じた新たなコミュニケーション（縁）を生み出すことをめざす市民参加型のアートプロジェクトです。足立区千住地域を中心に、市民とアーティストが協働して、「音」をテーマにしたまちなかライブ、ワークショップ、トークイベントなどを展開します。

主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、
東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、特定非営利活動法人音まち計画、足立区

平成 28 年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業

平成 29 年 1 月 11 日（水）
アートアクセスあだち 音まち千住の縁

2016 年度の新プロジェクト・まちを素材に音を編む

アサダワタル「千住タウンレーベル」
試作品（デモ）発表会

～「まちを舞台にした音楽レーベル」という発想を実現させるべく集まった「タウンレコーダー」たちが織りなす、海のものとも山のものともつかない音のメディアを、ひとまずつくってみたので、それを聴きながら語り合う編～

イラスト：宮田篤

千住タウンレーベルでは今春以降、『音盤千住』を定期的にリリースする予定。公募で集まった20数名の「タウンレコーダー」（記者）たちはこの数ヶ月、「**音のメディア**」や「**編集**」にまつわる学びを重ね、実際に取材や演奏、録音や編集、執筆などを通じた試作品（デモ）を創作してきました。

今回の発表会ではこれらのデモを聴き合いながら、ゲストアドバイザーとともに「**まちを舞台にした音のメディア**」やそれを発行する「**タウンレーベル**」という、**音楽・地域実践の可能性**を、参加者のみなさんと語り合う機会にできればと思います。

どうぞお気軽にご参加ください。

2017（平成 29）年 2 月 26 日（日）15:00-18:00（14:30 開場）

会場：安養院（東京都足立区千住 5-17-9）
アクセス：北千住駅 [西口] 徒歩約 10 分（JR 常磐線 / 東京メトロ千代田線・日比谷線 / 東武スカイツリーライン / つくばエクスプレス）
料金：無料（事前申込優先・先着 50 名）
ディレクター：アサダワタル
ゲストアドバイザー：岩淵拓郎（編集者・mediapicnic 主宰）ほか

※内容は変更になる場合がございます

アサダワタル｜あさだわたる

1979 年大阪生まれ。東京⇄滋賀在住。
「表現による謎の世直し」に取り組むアーティスト・文化活動家、博士（学術）。
音楽や言葉の創作、アートプロジェクトの企画演出、文筆業を通じて、まちづくりや障害福祉、住宅政策やキャリアデザインなど多岐にわたる分野で、個性と創造性がのびのびと生かされる生活環境・コミュニティづくりに勤しむ。
著作に『住み開き――家から始めるコミュニティ』（筑摩書房）、『コミュニティ難民のススメ――表現と仕事のハザマにあること』（木楽舎）、『表現のたね』（モ*クシュラ）など共編著多数。CD に『歌景、記譜、大和川レコード』（路地と暮らし社）、『Animacy』（SjQ 名義、HEADZ）など。これまでさまざまなコミュニティで音楽を軸としたアートプロジェクトを実施し、ドラムを担当する「SjQ ／ SjQ++」ではアルスエレクトロニカ 2013 サウンドアート部門にて優秀賞受賞。
大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員。京都精華大学ポピュラーカルチャー学部非常勤講師。
HP：http://kotoami.org/

千住タウンレーベルとは

千住で生活してきた市井の人々の人生譚（記憶）、千住のまちならでは風景や人間模様にまつわるエピソード、千住に根づき息づく音楽など、これらすべてをテキスト（文字）だけではなく、「音楽」として編集し、まちなかの拠点を編集室（スタジオ）として、発信・アーカイブしていくプロジェクトです。

お問い合わせ先｜アートアクセスあだち 音まち千住の縁 事務局

TEL：03-6806-1740　MAIL：info@aaa-senju.com　WEB：http://aaa-senju.com/contact
担当：松岡 [matsuoka@aaa-senju.com]、冨山

アートアクセスあだち 音まち千住の縁（通称「音まち」）は、アートを通じた新たなコミュニケーション（縁）を生み出すことをめざす市民参加型のアートプロジェクトです。足立区千住地域を中心に、市民とアーティストが協働して、「音」をテーマにしたまちなかライブ、ワークショップ、トークイベントなどを展開します。

主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、
東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、特定非営利活動法人音まち計画、足立区